

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	44万円
保険料	7万6千円
宿舍費（1か月あたり）	4万8千円
食費（1か月あたり）	2万円
渡航旅費	30万円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋（自身含め5人、のち6人）。
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、電話、Studying Room、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？
いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。おたふく・はしか・風疹。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人、職場のリーダーやコーディネーター。
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
周囲のほとんどの人がインターンシップ参加者で、参加者は様々な規律の中で過ごしているため、治安はいいです。だからといって油断はできないので、夜中に一人で出歩くことなど自らを危険に晒すようなことはしないよう心がけていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
寮のインターネット接続は良好でした。寮の外でも至る所で Wi-Fi 環境が整っているため、SIM がなくても最低限の生活はできると思います。しかし個人的には SIM の購入をお勧めします。私は現地で購入しました。友達との待ち合わせだったり、電話をかけたいときに買ってよかったと思いました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
FSU での授業期間は日本から持参していた現金を使い、インターンシップが始まってからはディズニーからの収入でやりくりしていました。ディズニーから支給されるデビットカードがあるので、基本的にカード払いでした。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
寮から出ているバスを使ったり、寮から 20 分ほど歩いたところにあるスーパーへ行って食料を調達しました。バスは時間がかかるので多少利便性にはかけていますが、私は 1 回に買う量が多かったので、バスは有り難かったです。 私が生活していた中で、日本から持っていくべきだったなと思うもの、調達できなかったものは特にありませんでした。基本的に探せばなんでも揃うと思います。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
口座振込。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について	
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？	留学先大学のピックアップサービス。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？	はい。FSUに通っていた約2週間と、ウォルトディズニーワールドで仕事を始める前の数日間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について	FSUでの講義で、明大生が2グループに分けられて少人数で授業をします。主に文化について学びました。ロールプレイなどが多く積極的な参加が求められ、質の高い授業だったと思います。

履修した授業科目名	Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について	インターンシップが始まってから月1回寮の会議室で行われる授業で、1週間に1回オンラインでのディスカッションとレポート提出を交互に行います。ここでは主に異文化理解について学びました。授業は10人弱のグループで行われますが、明大生だけでなく、中国・韓国・カナダからの参加者もいたため文化の違いが顕著に現れ、面白かったです。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップそのものを指します。週 5 日間、基本的に 6 時間ずつのシフトでした。ロケーション、また時期によっては 1 日 10 時間ほど働いていた人もいます。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
オンラインでのプレゼンとパワーポイントを参照しつつ、1 ヶ月に 1 回レポートを提出します。ウォルトディズニーカンパニーがより良い職業環境を作るために何に重きを置いているのかを学び、日本のそれと比較してみたりします。個人的に 1 番難しい内容でしたが、1 番興味深い内容でもありました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>高校生時代から、大学生になったらなんらかの形で留学したいと思っていました。インターンシップを選んだ大きな理由はディズニーで働けるという魅力です。英語を学びながら接客も経験できる、加えて世界的に有名な会社であるディズニーカンパニーで半年間過ごせるという条件は私にとって最高でした。</p> <p>オリンピックのスピーチで一時話題になった「おもてなし」と「ホスピタリティ」の違いを実際に行って感じたいと思っていたことも理由の一つです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>覚えている限りで、1番最初の準備はTOEFLでした。自分一人ではやらないだろうと判断したため、1年の春学期にTOEFL preparationの授業を取り、授業内で問題を解いたり単語を勉強したりしました。面接ではディズニーカンパニーのことについても聞かれる可能性があるかと聞いていたので、会社概要やテーマパークについても調べていました。</p> <p>英語の勉強はもっとしていくべきだったなと後悔しています。英語を学びにいくというより働きに行くので、私個人の見解ですが現地で英語を勉強する時間はそれほどありません。ゲストの方は私たちが英語を話せると思って話しかけてくるので、質問に答えられず申し訳なく思ったことは何回もあります。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前は、ウォルトディズニーカンパニーのホームページを使って会社について調べていました。パークやホテルの数、敷地面積など細かな情報も一度は目にしておいて損はないと思います。留学中は従業員用のウェブサイトがあり、そこにシフトなどの情報が載っているので、毎日のように閲覧していました。休みの申請やリーダーとの連絡もこのウェブサイトを通して行うことができます。またアプリについて、バスの時刻表や位置情報がみれるアプリと、ウォルトディズニーワールドの公式アプリは必要不可欠です。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>前半後半2つのジョブを経験しましたが、どちらの職場も雰囲気がよく、とても居心地が良かったです。その場にいるだけでも一人一人が仕事を楽しんでいるんだというのがわかる素敵な職場です。リーダーやコーディネーターはいつも私たちを気にかけてくれ、何かあったらすぐに助けてくれました。また、私は同僚にも恵まれ、休憩時間が被ったら一緒にスナックを食べたり、休み</p>

	<p>の日は被ったらパークに遊びに行ったりしていました。また、特に国内からのインターンシップ生には大のディズニーファンが多いので、一緒に話すのがとても楽しかったです。</p>
滞在先の雰囲気	<p>セキュリティ面では、24時間寮の前に警備員がいるので、とても安心でした。部屋は正直可もなく不可もなくという感じでした。生活するのに必要な設備は十分に揃っています。サービスセンターがあり、ここでは掃除用品も提供してくれるので、定期的に掃除もしていました。私の住んでいた寮は、ディズニーが所有する4つの寮の中で唯一洗濯機が部屋についていて、非常に良かったです。各寮にジムとプールがついていて、ちょっと運動したいときやリフレッシュに最適でした。</p>
留学先における交友関係	<p>私はプログラム開始から5ヶ月間は明大生5人で、そして最後の1ヶ月弱は寮からの要請で引っ越しがあり、明大生6人で過ごしました。正直最初は国際部屋に慣れていましたが、留学が終わった今考えてみると、一緒に生活したみんなは良き相談相手であり、理解者であり、またこれからも付き合いの続く掛け替えのない存在になったと実感しています。</p> <p>職場でできた友達とは勤務中にたくさん喋ったりふざけたり、休日にパークに遊びに行ったり、とても楽しかったです。また、きっと一生に一度の出会いですが、ゲストとの関係も私にとってはとても大切でした。ゲストと関われるほんのわずかな時間で意外な共通点を見つけたり、名前を覚えていてくれたり、そういう瞬間も幸せでした。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>英語が聞き取れない、通じないことが一番辛かったです。ゲストは「キャストはなんでも知っている」と思って話しかけてきます。急いでいるゲストがいたりもする中で、相手の求めている情報を正確に聞き取り、その答えを正確に伝えるということが予想以上に難しく、同時に自分の能力の低さを突きつけられた瞬間でした。ゲストが不満気、またあきれた様子で去っていくのを見たり、英語ペラペラの同僚が楽しそうに会話をしているのを見るのは正直心が痛かったです。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>するべきだとは思いますが、個人的に机に向かって勉強する時間はほとんどとりませんでした。メインはインターンシップである以上、人と話すことが大切だと考え、休みの日は出来るだけ外に出るようにしていました。</p>

	<p>また、FSU から出されるレポートについては、1 週間前から詳細が知らされるので、余裕を持って提出できるように早めに取り組むことを心がけていました。私の場合家に帰ると疲れて寝てしまうので、通勤時のバスの中で考えたことをメモしておいて、あとでまとめるようにしていました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>大学と違って課題の量も少ないので追われることなく、自由時間はパークへ遊びに行ったり、買い物をしたりしていました。遊び呆けていたわけではないですが、パークは何回行っても飽きません。同僚とオフが被った時にパークに遊びに行くのが毎週の楽しみでした。今考えても本当に貴重な経験です。また、自炊生活なので、日本では普段やらない料理をしてみたり、自分の好きなことに時間を費やせるのが楽しかったです。実家暮らしの私にとっては自炊も留学の魅力の一つで、料理の楽しさも学べたように思います。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>今留学を考えられている皆さんはきっとワクワクしていると思います。もちろん不安もあるとは思いますが、そのワクワクを忘れないでください。ディズニーに関して言えば、キャストとして働けることほど楽しいことはありません。ゲストの笑顔に何度も勇気付けられ、何度も幸せになりました。真剣になりすぎず、今しかできないことを精一杯楽しむことを第一に考えて欲しいです。私が言える立場ではありませんが、インターンシップ、大学留学、どちらが合うかは人それぞれです。何が自分にあっていて何が自分にあっていないのか、それらをはっきりさせてから参加プログラムを決定することが、今後にも活かされるのではないかなと思います。これから行くみなさんが本当に羨ましいです！頑張ってください！</p>